

岩手県金融経済概況（2021年7～8月）

1. 概況

県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、持ち直しの動きが一服しつつある。

最終需要の動きをみると、公共投資は、減少している。設備投資は、増加している。個人消費は、弱含んでいる。住宅投資は、持ち直しに転じている。この間、生産は、供給制約の影響から増勢が鈍化している。雇用・所得環境は、弱い動きが続いている。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回った。

2. 最終需要

(1) 個人消費

個人消費は、弱含んでいる。

百貨店売上高（全店舗ベース；2021年7月）は、2ヵ月連続で前年を下回った（前年比△7.0%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；2021年7月）は、2ヵ月振りに前年を上回った（前年比+3.4%）。

新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞；2021年8月）は、3ヵ月連続で前年を下回った（前年比△5.4%）。

この間、サービス消費は、新型コロナウイルス感染症の影響から飲食・宿泊を中心に引き続き厳しい状態にある。

(2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（2021年8月）は、引き続き前年を下回った（前年比△33.8%）。

新設住宅着工戸数（2021年7月）は、4ヵ月連続で前年を上回った（前年比+17.1%）。

—— 持家（前年比+10.0%）、貸家（同+31.5%）とも、4ヵ月連続で前年を上回った。分譲（同+22.2%）も2ヵ月振りに前年を上回った。

民間設備投資（2021年6月短観ベース；2021年度計画）は、前年度を上回る計画となっている（前年比+30.5%。3月短観から+4.3%の上方修正）。

—— 製造業では、前年度からの先送り案件や半導体関連の能力増強投資等から前年比大幅に増加する計画（前年比+53.4%）となっている。一方、非製造業では前年並みに止まる計画（同+2.2%）となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（2021年7月）は、4ヵ月連続で前年を下回った（前年比△27.0%）。

3. 生産動向

生産は、供給制約の影響から増勢が鈍化している。

鉱工業生産指数（季節調整値；2021年6月）は、2ヵ月振りに前月を上回った（前月比+9.3%）。

—— 主な業種の動きをみると、電子部品・デバイス、生産用機械、食料品は上昇した一方、輸送機械などが低下した。

四半期の動きをみると、2021/4～6月は4期振りに前期を下回った（2020/10～12月：前期比+5.3%、2021/1～3月：同+15.6%、4～6月：同△0.6%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、弱い動きが続いている。

有効求人倍率（季節調整値；2021年7月）は、1.27倍と前月を上回った（2021年6月：1.22倍）。

雇用者所得（県内合計値；2021年6月）は、常用雇用指数（前年比+0.6%）が前年を上回ったものの、名目賃金指数（同△4.0%）が前年を下回ったことから、前年割れとなった（同△3.4%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品；2021年8月）は、3ヵ月連続で前年を上回った（前年比+0.9%）。

内訳をみると、光熱・水道、教養娯楽、住居などが上昇し、交通・通信が下落した。

6. 企業倒産

企業倒産（2021年8月）は、3件、305百万円となり、件数、負債金額とも前年を上回った（前年同月；1件、110百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2021年7月）については、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2021年7月）は前月に比べて低下した。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代）
ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/morioka/>

<ホームページ>

